

JR西日本からのお願いです。トラック運転手の皆さまへ 【記憶に新しい、トラックが原因で発生した重大事故】



トラックの運転手が死亡
乗客と運転士など77人が重軽傷

2019年9月5日午前11時40分頃、京急川崎駅と横浜駅の間で、京急電車とトラックが衝突し、先頭車両が脱線する大きな事故が発生しました。

踏切内にはセンサーが付いています！

※但し、踏切手前までに必ず列車が止まる保証はありません！

※踏切が鳴ったら、無理に進入しないでください。
また、危ないと思ったら、直ぐに踏切非常ボタンを押下してください。



(参考)

■電車事故での損害賠償の対象となるもの
損害賠償とは「事故によって、列車の運行停止・遅延等が生じ、これにより鉄道会社に生じた損失額」のことを意味します。電車事故の場合、鉄道会社への損害賠償の対象となるのは、次のようなものがあげられます。

- ・車両の修理、廃車代
- ・整備点検代
- ・振替輸送の他社への支払い分
- ・乗車券の払い戻し
- ・復旧までに要した人件費
- ・負傷者の治療費、休業補償

これらを元に、損害賠償金額が算出されます。そして、交通事故と同様に、事故調査が詳しく行われて、下記のような点から過失割合を決めることになります。

- ・自動車や電車の運転手に違法行為はあったか。
- ・自動車、電車に不具合はなかったか。
- ・踏切に不具合はなかったか。
- ・非常停止ボタンは正常に機能していたか。

このような調査を経て、自動車の運転手に請求される損害賠償金が決定します。

身近な（よくある）事象

①踏切遮断桿折損

【原因】踏切が鳴動しているのにも関わらず、踏切内に入進し、降りてきた遮断桿を引っかけて折損させる。

②踏切遮断桿降下不良

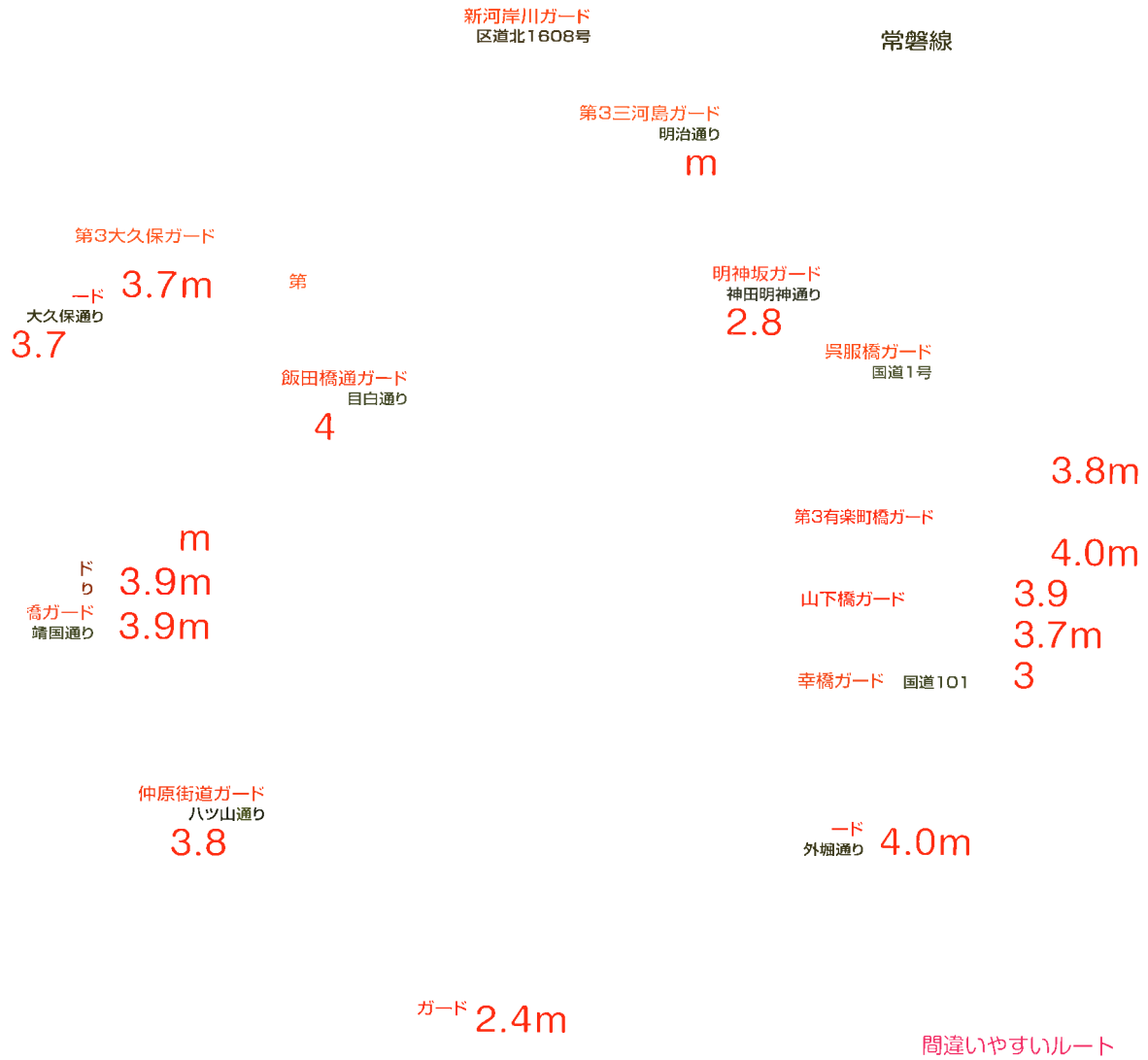
【原因】無理な進入等が原因で、踏切内で立往生してしまい、遮断桿を引っかける。
※踏切遮断桿の降下不良も、検知すると列車を止めるための信号が発光されます。

③踏切内停滞

【原因】前に車が詰まっているにも関わらず、踏切内に入進し、踏切が鳴動するも脱出することができず停滞してしまう。

※京急電車とトラックが衝突した事故を考えると、「停滞」をとにかく避けてください！

背高コンテナ等を積んだ場合は
許可されたルートを行って下さい。



※赤色のガードは、背高海上コンテナ等は通れません。
ル | ルト

昌平橋ガード、万世橋ガード、
小柳橋ガード、明神坂ガードは、
大変間違いやすいルートと
なっていますので、
特に注意してください。

国道 | 国通り
号

